

尾瀬アヤメ平山行報告

・日 程： 6月2日(土)～6月3日(日) 一泊二日 天候：快晴

・行程・コースタイム：

一日目：鳩待峠(12:45) ⇒山ノ鼻(14:15) ⇒アヤメ平(15:15) ⇒16:10 竜宮小屋(泊)

二日目：竜宮小屋(07:00) ⇒土場(09:15) ⇒アヤメ平(10:40) ⇒昼食(11:30-12:15) ⇒
鳩待峠着(13:20) = 尾瀬戸倉 * 15:30 = バスタ新宿 * 尾瀬ふらり館入浴

・参加者：

河野(L)、上島(SL)、中野、伊藤、岩井、岩堀、池田、荻山、金子、生田目、松山、
三浦(前夜発沼山峠、尾瀬沼を経て竜宮小屋にて合流) (12名)

・山行感想

今回山行に参加のほとんどの方は尾瀬には時期は違えど何度か行かれたようですが私には今回の尾瀬山行は初めてでした。尾瀬の映像、ミスバショウの咲く木道、一面紅葉の中の木道をゆらゆらと列をなして行く様子、をテレビ等で何度も見ましたが、鳩待峠から山ノ鼻まで樹林地帯の下りはまさに映像通りで列の途切れる事もなく続いていました。山ノ鼻まではミスバショウは既に時期が過ぎたのかあまり咲いていなくてちょっとがっかりでしたが、山ノ鼻から竜宮小屋までの木道は素晴らしい好天のもとミスバショウを見ながら、後ろを振り返ると至仏山、前を向くと燧ヶ岳を見ながらの気持ちの良い散策コースでした。

二日目の朝は気温も低く尾瀬ヶ原一面は深い霧に包まれて幻想的の光景を醸し出しすばらしい景色で時間の経過とともに霧が晴れ至仏山が見えてきました。二日目の山行は初めは沢の流れを聞きながら登って行きましたが、その後無風の中急坂を息をきらせながら登りきると、まだ少し残雪の残る道を足元を気にしながら進み、アヤメ平への分岐点の所にはわりと大きな池がありホットする気分となりました。

分岐点からアヤメ平への尾根道は左右に視界が開け、気持ちの良い風が吹き抜ける尾根道で左側遠くにはたぶん赤城連山が遠くに見え、右側にはまだ雪を被った越後の山々が左下前方には片品の村落が、前方には至仏山、後方には燧ヶ岳、足元には黄色、ピンク、白、紫の可憐な高山植物が所々に咲いていて、又今回行程の9割近くは木道が良く整備され私にとっては楽しい尾瀬山行となりました。また改めて思ったのは好天での山行がやはり何よりでした。

(文責：上島)



竜宮小屋と燧ヶ岳(背景)



至仏山遠望



尾瀬ヶ原の沢ハシク



アヤメ平から池塘越しの燧ヶ岳(左)と至仏山(右)